



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

ICTモデル事業

大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

業務別業務名:大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

九州農政局

[illegible]

業務別業務名:大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名:大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1.000 人
	単 価				64,800	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1.000 人
	単 価				57,000	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1.000 人
	単 価				47,200	
	*** S単- 4号 ***					
S63003	準備作業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数	3.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数	3.00人 0.00人				
	7) 技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	
	合 計				507,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		507,000	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	状況調査 (施設情報の整理)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名

ICTモデル事業

業務名

大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名:大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	9.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	18.00人				
	5)技師Bの人数	18.00人				
	6)技師Cの人数	18.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		9.000	人	64,800	583,200	
R04004	技師 (A)					
		18.000	人	57,000	1,026,000	
R04005	技師 (B)					
		18.000	人	47,200	849,600	
R04006	技師 (C)					
		18.000	人	38,400	691,200	
	合 計				3,150,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		3,150,000	
	*** S単一 6号 ***					
S63003	実施設計 (自動給水ゲート化の検討)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				464,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		464,400	
	*** S単一 7号 ***					
S63003	実施設計 (自動給水ゲート化の実施設計)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				464,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		464,400	
	*** S単一 8号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名

ICTモデル事業

業務名

大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名:大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				464,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		464,400	
	*** S単- 9号 ***					
S63007	状況調査 (現地調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	9.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	9.00人				
	5)技師Bの人数	9.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	9.000	人	64,800	583,200	
R04004	技師 (A)					
	外業	9.000	人	57,000	513,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	9.000	人	47,200	424,800	
	合 計				1,521,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,521,000	
	*** S単- 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.46日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	日			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.460日				
R04003	主任技師					
		0.960	人	64,800	62,208	
R04004	技師 (A)					
		0.960	人	57,000	54,720	
	合 計				116,928	算出数量 1.000 回
	単 価		回		116,928	
	*** S単- 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.46日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 14号 ***					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地、ライトバン、0.50日、2日、2時間、なし、100km≦L（100km以上）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正：なし	亜熱帯補正：なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間：8.0	超勤時間：0.0	
	3) 高速道路往復料金（税別）	0円		深夜時間：0.0		
	4) 鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	2時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	9.500日				
	14) 技師A外業日数	9.500日				
	15) 技師B外業日数	9.500日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km≦L（100km以上）				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 （乙地）消費税抜き（7級相当）	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師（A）宿泊費 （乙地）消費税抜き（6級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（B）宿泊費 （乙地）消費税抜き（4級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	8,354	66,832	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	8,354	66,832	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	8,354	66,832	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合 計				240,465	算出数量 1.000 式
	単 価		式		240,465	
	*** S単ー 15号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, Aー4, 800, 8cm, 0			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正：なし	亜熱帯補正：なし	
	2) 規格区分	Aー4		基本給時間：8.0	超勤時間：0.0	
	3) 枚数区分(枚)	800		深夜時間：0.0		
	4) 厚さ区分	8cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代（コピー） Aー4以下 800枚	1.000	部	10,200	10,200	
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	C DーR C DーR（記録面色素フタロシアニン）700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				10,895	算出数量 1.000 式
	単 価		式		10,895	

令和6年度ICTモデル事業
大野川上流地区受益地内水管理省力化対策
実施設計業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第 1-1 条

令和6年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第 1-2 条

ICT技術の活用による自動制御・遠隔監視、無効放流の削減、水管理労力の削減のための大野川上流地区ICT整備構想に基づき、関係施設の実実施設計等を行うものである。

(場所)

第 1-3 条

本業務において対象とする場所は、大分県竹田市地内で、別紙位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第 1-4 条

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第 1-5 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ①審査項目 a) ～c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ②審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③その他、業務計画書等示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④業務成果品のミス、不備等

(一般事項)

第 1-6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1-7 条

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	電気電子－電子応用、情報通信 農業－農業土木、農業農村工学
	電気電子	電子応用、情報通信
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する 学術部門	
シビルコンサルティングマネー ジャー	電気電子	－
	農業土木	－

(担当技術者)

第 1-8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-9 条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1-10 条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1 条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	水管理制御方式技術指針（計画設計編）	（一社）農業土木機械化協会	平成25年3月

(参考図書)

第2-2 条

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるものとする。

(貸与資料等)

第2-3 条

資料名は次表のとおりである。

番号	資 料 名	数量
1	平成27年度大野川上流農業水利事業 計画変更資料作成その他業務 報告書	1 式
2	令和4年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策検討業務報告書	1 式
3	令和5年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策検討業務報告書	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4 条

第2-2条、第2-3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と 協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった 場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりであり、詳細は別紙【作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 状況調査	1 式	
3. 実施設計	1 式	
4. 点検とりまとめ	1 式	

(作業の留意点)

第3-2条

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2章及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施する

ものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（現地調査段階）

第3回 中間打合せ（施設情報の整理段階）

第4回 中間打合せ（自動給水ゲート化の実施設計段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-RもしくはDVD-R） 正副2部
2. 成果物の出力 1部（電子媒体の出力（A4）、市販のファイル綴じで可）
3. 図面原図一式

(成果物の提出先)

第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿 2084-5（大蘇ダム管理所）

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 大蘇ダム管理所駐在

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

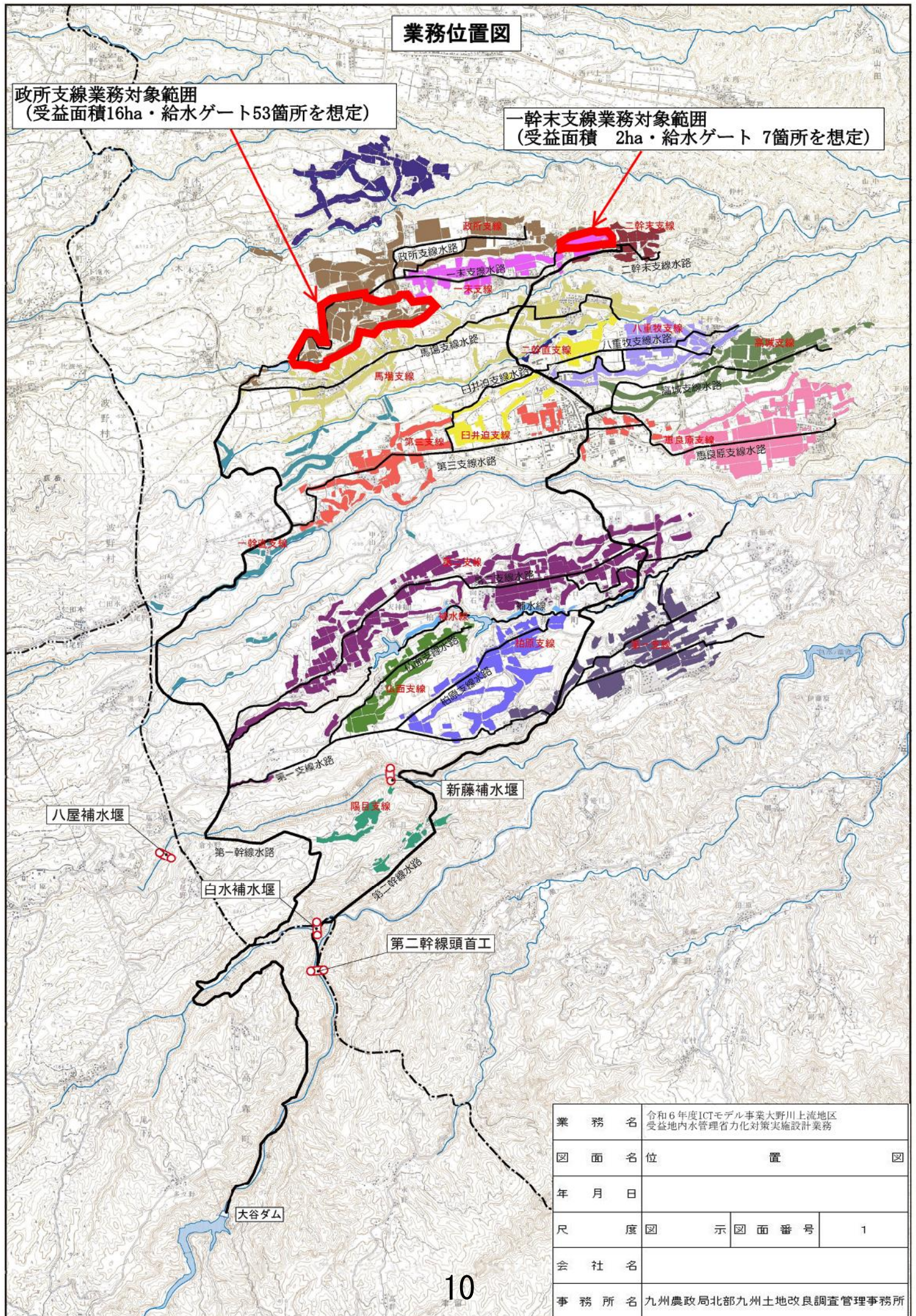
別紙【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業	貸与資料等を把握し、業務計画を作成する。	
2. 状況調査 2.1 現地調査	貸与資料を基に政所支線・一幹末支線掛かりの給水ゲート・分水路内分岐部の配置を確認し、施設の現状及び管理状況を調査する。 ・政所支線：受益面積 16ha・給水ゲート 53 箇所を想定 ・一幹末支線：受益面積 2ha・給水ゲート 7 箇所を想定	
2.2 施設情報の整理	現地調査結果や貸与資料より、政所支線・一幹末支線掛かりの給水ゲート・分水路内分岐部の施設情報を整理する。 ・政所支線：受益面積 16ha・給水ゲート 53 箇所を想定 ・一幹末支線：受益面積 2ha・給水ゲート 7 箇所を想定	
3. 実施設計 3.1 自動給水ゲート化の検討	現地調査結果や貸与資料を基に政所支線・一幹末支線掛かりの給水ゲートに対して自動給水ゲート化の検討を行う。検討に際しては、自動給水ゲートと既設水路の接続部構造の相違（既設部の大きさ、向き、配水部構造）などを確認し、各箇所毎に標準 5 タイプ（昨年度業務にて設定した 5 タイプ）のどれに該当するか整理する。	
3.2 自動給水ゲート化の実施設計	自動給水ゲート化の検討結果及び貸与資料に基づき、機器整備に向けた実施設計を行う。 機器整備は、土地改良区等の管理者がスマートフォンによる遠隔操作又はタイマーによる自動操作を行うことを前提とする。 実施設計の結果に基づき、図面、数量計算書、特別仕様書(案)を作成し、概算工事費を算出する。 なお、地形図には発注者から提供する GIS データを活用する。	
4. 点検とりまとめ	各作業項目の点検とりまとめを行い、報告書を作成する。	

業務位置図

政所支線業務対象範囲
(受益面積16ha・給水ゲート53箇所を想定)

一幹末支線業務対象範囲
(受益面積 2ha・給水ゲート 7箇所を想定)



業 務 名	令和6年度ICTモデル事業大野川上流地区 受益地内水管理省力化対策実施設計業務		
図 面 名 位	置		
年 月 日			
尺 度 図	示 図 面 番 号	1	
会 社 名			
事 務 所 名	九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所		